



2012年 JCNA テーマ  
“Pacem sectamini cum omnibus.”

すべての人との平和を追い求めなさい (ヘブライ書 12:14)

“*Strive for peace with everyone*” (Hebrews 12:14)

平和のために働く人は幸い (マタイ書 5:9)

“*Happy are those who work for peace*” (Mathew 5:9)

2012年度 (平成 24年) 日本カトリック看護協会会長就任のご挨拶  
(Japan Catholic Nurses Association) JCNA

城 麗子

✠ 主の平和

はじめて、日本カトリック看護協会 (JCNA) の会員シスター様方、諸先輩、諸先生方皆様にお便り申し上げます。この度、第5代会長に御指名を賜りました城麗子と申します。

JCNA の会員の皆様は私如き若輩者からしますと大先輩ばかりでございます。

副会長のシスター沢禮子先生は聖母女子短期大学 (現・上智と合併) 時代の学長様であり、私にとりましては大変な恩師です。また、会員の諸先輩方皆様方の中には、日本全国のカトリック病院の責任者であるシスター様方、信徒の看護部長、課長、師長様方、また教育者としては上智大学看護学部の教授3名をはじめ、看護大学、短大、中高などの諸先生方教育者の方々もたくさんおられます。私が先生とお呼びしなければならぬ250名もの会員の皆様の中で、会長という重責をお引き受けすることとなりましたことは、神様が如何に無力な者をお使いになるのがお好みかということであらためて感じる次第でございます。任期中、皆様にご奉仕させていただく所存ですので何卒ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

さて、私は第2代の藤門政子様以外とは歴代の会長様方と不思議なご縁がございます。初代会長の井深八重様は、私が高校2年生から御殿場の復生病院に春、夏休みに友人と慰問、ボランティアに訪れていた折、会員であるシスター遠藤美智子様から朝のミサでご紹介をいただきました。ミサではオルガンを弾いておられ、大変にこやかでおられました。ご存じのように井深八重様はハンセン病と誤診された後に受洗され、その後生涯をハンセン病の患者様に捧げられた偉大な初代会長でした。第3代会長の水野しづ様とはもう15年ほどおつき合いさせていただいております。昭和を代表する強い女性として信仰一筋に生き抜かれ、歩行困難になられるまで約25年という長きに渡ってJCNA 会長職に捧げられました。第4代会長の薄島和子様は昭和48年から36年間もの長き日々を、南山学園で中学1年から高校

3年まで1200人の生徒と職員100名の健康を管理された教育者でございます。JCNAの会長職をこれまで2期務められ、教育現場で働かれたご経験から、まさに万能の会長様でございましたが、在俗会における重責かつ激務とJCNA会長の任務の両立の厳しさから体調を崩され、再任を強く望まれたのですが、急遽私のような若輩者に交代のご指名がまいりました。もちろん初めは薄島会長の代わりなど私では到底務まらないと即刻ご辞退申し上げました。しかし、薄島会長の一日も早い体調のご回復をお祈りしながらその間微力ながらお手伝いさせていただければという気持ちでございます。JCNAへの多大なご尽力とご指導、6年間本当にありがとうございました。大変お疲れ様でございました。

「どうぞ、お体をゆっくり休められてください」と申し上げなければならぬ所ですが、まだ私が新米であることから今後も私を補佐いただき、ご指導いただきながらという歩みとなりますので、皆様に御了解をお願い申し上げます。

この4月からは日本カトリック看護協会(JCNA)の「キリストの福音宣教」という使命を皆様と共に受け継いで「聖母マリアを想わせる海の星のような愛と優しさの輝き」を灯し続けて行ければと願っております。今まで会員の皆様がお力を注いでこられたことを第一に大切に継続しつつ、新たな取り組みとしましては、14年連続年間自死者が3万人以上という異常事態にある病める日本社会に一石を投じるべく、JCNA会員の皆様とこの3年間福音宣教に身を投じることができれば大変幸せに思います。具体案等につきましては『ぶどう白書』(JCNA編)というタイトルの倫理書、自死を思い留まらせる冊子を会員の皆様とともに作製することをかわきりに、本部から支部長様を通して皆様と連携をとらせていただき、国内外に広めるよう歩ませていただきたいと思いますので、会員諸先輩方のお力を仰ぎたく、心からご協力、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後に簡単に自己紹介をさせていただきますと、看護職とともに、20代よりエッセイ、小説、を福音宣教を目的に書き続けてまいりました。医療分野では白血病救済活動としまして、赤字を抱えていた東京臍帯血バンクの支援を約7年間続けてまいりました。それは、「臍帯血移植」が、医療廃棄物でもうひとりの白血病の患者さんの命を救えるドナーに無害の最先端医療であり、「骨髄移植を待たずして亡くなる、年間千人ともいわれる白血病の患者さんの命を救うすぐれた医療」という確信があったからでした。

昨年は、3月11日東日本大震災に伴う福島原発事故で我が国は被曝の恐怖に脅える事態となりました。世界唯一の被爆国における胎内被爆者でもあられ、力強く世界平和活動をされておられる長崎の高見大司教様の反戦、反核のためのバチカン、ゲルニカ、ニューヨークへ被爆マリア像を携えての歴史的な巡礼を『被爆マリアの証言』というタイトルの本にてまとめさせていただきました。この時、高見大司教様より賜りました「すべての人との平和を追い求めなさい」というヘブライ書の聖句をJCNAにおける2012年度のテーマとして選ばせていただき、是非、高見大司教様から霊的なご指導を仰げばと願っております。

また、川上誠神父様がこの聖句に合わせて「平和のために働く人は幸せ」というキリストの山上の説教の御言葉よりサブタイトルをくださいました。なお、川上神父様におかれましては、水野会長時代から、霊的指導者としてJCNAを率いてくださり如何なる犠牲をもちとわず、JCNAをあらゆる意味でお守り導いてくださいましたことに心からの感謝を申し上げますと共に、今後とも多方面からのご指導を本部顧問司祭としてお続け下さいますよう心よりお願い申し上げます。

重ねまして、日本カトリック司教協議会、日本カトリック医師会、日本カトリック医療施設協会の皆様のご指導、ご協力を是非ともよろしくお願い申し上げます。平成24年2月14日 記

## 第56回日本カトリック看護協会全国総会報告

日時：2011年11月11日（土）9：00～11：30

会場：熊本・ホテルグリーンピア南阿蘇（阿蘇郡南阿蘇村久石 4411 の9）

出席者：総会構成メンバー19のうち出席15（14支部中12支部代表出席）委任状3 によって総会成立  
顧問司祭 Fr.川上誠（本部・名古屋）、Fr.飯野雅彦（横浜）

### I. 報告事項

#### 1. 2010年度第3回～第8回JCNA本部役員会 報告

- ・本部役員会の開催は17カ月になった関係で合計8回の開催になった。通常は4, 5回。
- ・第2回の日本カトリック医療団体協議会全国大会 開催が決定された。

#### 2. 第52回JCNA全国大会（金沢）報告

- ・講師 惣万佳代子先生より「カト看よく笑うグループ」と評された。

#### 3. 第2回日本カトリック医療団体協議会全国大会について

- ・テーマ「病む人々に寄り添う医療」、会期 7/20,21の両日、新神戸

### II. 審議事項

#### 1. 第55回JCNA全国大会 開催関係（2013. 10. 25, 26 仙台）

会期の訂正。事前に告知された日程を1日ずらし、25, 26日（金、土）となる。

#### 2. 第56回JCNA全国大会 開催地支部（2014）東京

支部長より、現段階でのお知らせは特になし。

#### 3. 第57回JCNA全国大会 開催地候補（2015）

立候補をお願いしたい。

#### 4. 第58回JCNA全国大会 開催地候補（2016）

JCMA(医師会)がアジア大会の開催の予定年にあたり、その協力が求められる。その開催地にあわせることとなる。東京か京都が候補に挙がり、会期は10月か11月が検討されている。

#### 5. 第53回JCNA全国大会（熊本）開催関係

自然の中でゆっくり過ごしていただく趣旨であったが、プログラミングを進めていくうち、ぎっしりと立てこんだスケジュールとなったが、温泉にゆったりとつかっていただきたい。

#### 6. 第57回JCNA全国総会 開催日時予定

2012年7月19日（木）13時30分開催。

これは第2回カトリック医療団体協議会全国大会 開催前日であることを確認。

#### 7. JCNA会計 決算および予算の承認 ～本部会計・Sr.沢より～

- ・東日本大震災支援金 20万円を計上。震災復興支援のための使いみちを仙台支部が考えて有効利用してもらうこととしている。

異議なく、満場一致にて承認

#### 8. その他 本部・支部提案事項

会計年度変更後の支部会計についての移行期の混乱を乗り越えて各支部で対処していただきたい旨理解を求めたところ、満場一致で了解が得られた。

## 9. 会長選挙

今回は会長の任期満了に伴う選挙であることは告示してあったが、支部より推薦はなかった。この場での推薦も無いことを確認のうえ、本部より城 麗子氏を推薦。

推挙にあたり、本人の意思確認を行う必要があり、本部役員が本人に交渉に当たった結果いくつかの条件（名前、交通費、事務面）を提示されたうえで了承を得ることが出来た。

会場からの質問を受け、城氏の紹介がされた。（これまでも作家活動を通して、当会を継続支援してきたこと、本部役員の実績があること、当会大会等での講演の実績、また著名な講師への依頼に際し、功績がある）

さらに、事務的な仕事については、現役員らの負担増になるのではないかとという質問があったが、協力体制を強化することを確認。

選挙としては、無記名投票ではなく、挙手による候補者信任を問う形を会場の一致により、決定し、満場一致の賛同を得た。

⇒ よって、新会長に城 麗子氏が選ばれた。

## 第53回 JCNA 全国大会（熊本・南阿蘇）で開催される

「向き合えば いのち 流れる」のテーマで福岡支部の素晴らしい準備に迎えられて全国総会に続いて開催されました。講演Ⅰは真宗大谷派の中下大樹氏による講演で、「東日本大震災での活動を通して見えてきた課題と展望～悲しむ力を通じて、いきる力を育む～」という題で身元不明の方々の弔いを依頼されて関わり、月の半分は被災地に居るという活動から命を救うためにはネットワークが必要だと言うことを説かれました。講演Ⅱは長崎教区中村倫明師の「溜め込まないで」という題で突然に山本リンダが登場し、びっくり。疲れ・ストレス・食べたものを溜め込まないということ、美しいガリラヤ湖の映像とともに「受けるだけでなく、溜め込まないで与える人になりなさい」と説かれました。パネルディスカッションでは3人のパネリストが時間一杯にご自分の活動を話され、それぞれに感動を与えてくださいました。閉会ミサでは宮原司教様のお勧めでミサ献金が仙台支部に全額贈呈されました。仙台支部の皆さん、大変でしょうががんばってくださいね。

大会誌を楽しみに待ちましょう。！

## 「第2回カトリック医療団体協議会全国大会」のお知らせ

2012年7月20日21日の両日、神戸ポートピアホテルを会場に開催されます。

第57回 JCNA 全国総会は、前日の7月19日（木）13時30分より本館地下1階「北野」で開催されます。支部長方には後日、議題の送付と出席の確認(委任状)をおとどけいたします。日程に注意してご参集ください。

この大会のプログラムは間もなく発表されますが、新会長 城麗子氏が医師会の澤 温先生と仮題「自死について」のセッションにお出になることになりました。用意されている冊子『ぶとう白書』は、この大会に先立ってアフリカで開催される CICIAMS で世界の会長選挙に Sr.沢禮子と出席され、その場で JCNA の活動の一端として発表されるものです。長崎の第1回大会に続くこの大会で城会長を応援いたしましょう。各会員、多数のご参加をお願いいたします。（薄島記）